

# 特別活動プロジェクト研究通信(No.6)

## 「なりたい自分に向けてがんばる力」を育てる小学校の特別活動 一学級活動における個々の意思決定とそれに基づく実践の充実を通して



10月24日(木)、C校にて第6学年X教諭による実証授業および研究協議会を開催しました。授業の内容や子どもたちの様子、研究協議で話し合ったことを中心にお伝えします。

### 第6学年 学級活動(3)イ「よりよい運動会を目指して」 めあて「運動会を通して『なりたい自分』に近づくための目標を考えよう」

つかむ		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px;">  <b>アンケートの提示</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <b>自分たちの現状を客観的に把握する</b> </div> </div> <p>事前にアンケートを実施し、運動会に向けた取組について振り返りました。本時では「運動会に向けて現時点で意識していることはありますか」というアンケート結果を基に、「てきぱき行動している」「責任感を持って取り組んでいる」「他の学年があこがれる最高学年として真剣に取り組んでいる」など、意識していることを共有しました。</p>
さぐる	<div style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 10px;"> <p>● 9月の「なりたい自分」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の学年からあこがられる</li> <li>・下学年にたよってもらう</li> <li>・「人なま風になりた」と思ってもらえる</li> </ul> <p>● 今だからこそ「意識したいこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の学年にもまわしてもらえるように</li> <li>・すばやく行動</li> <li>・メリハリをつける</li> </ul> <p>・気づき、かっこいいと思えるように                  ・考え、思ってもらえるように                  ・マイナス発言をしない</p> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px;">  <b>1年生の動画の提示</b>  <b>運動会1週間前だからこそ思う、「意識したいこと」を共有</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <b>これまでの取組を振り返り、これから取り組みたいことを意識する</b> </div> </div> <p>1年生が6年生をまねて応援練習をしている動画を提示したり、運動会の1週間前だからこそ思う「もっと意識したいこと」を考える時間を設定したりしました。児童は「1年生だけでなく2~5年生もさらに応援をがんばられるように、6年生が進んで取り組む」「組体操では指先まで伸ばし、『かっこいい』と思ってもらえるようにする」など、さらに意識したいことを発言していました。</p>
見つける		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px;">  <b>「目標ボード」の活用</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <b>仲間との話合いを生かして考えを広げる</b> </div> </div> <p>運動会に向けて、どんなことに取り組むかを付箋に書き、「目標ボード」に貼りながら交流しました。「めりはりをつけて行動する」「困っている人がいたら声をかける」「遅れないように時間を守る」など様々な目標を書き、交流する姿が見られました。</p>
決める		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="background-color: yellow; padding: 5px;">  <b>「なりたい自分になりまシート」の活用</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <b>自分に合った具体的な解決方法(目標)を決める</b> </div> </div> <p>時間の関係で翌日での実施となりましたが、友達との意見交流や「目標ボード」を参考にしながら「なりたい自分になりまシート」に自分の目標を書きました。</p>

## 研究協議より

### ①児童は問題意識をもつことができたか

- ◆ アンケート結果にあった児童の言葉に着目し、「あこがれ」「最高学年として」などのキーワードを板書することで意識づけができていた。
- ◆ 1年生の動画提示によって、「なりたい自分」に近づいていることを実感している児童がいた。
- ◆ 「つかむ」「さぐる」の過程に時間を多く割いたため、他の活動時間に支障が生じた。発問の精選が必要。



### ②児童は「目標ボード」を活用することで考えを広げることができたか

- ◆ 「目標ボード」に付箋を貼るだけでなく、「こんなことがんばろうと思ってる」と友達に説明することで、交流がより活発化した。一方で付箋を貼るだけになっていたグループもあった。
- ◆ 参考にしたアドバイスを残すことも有効。

### ③児童は「なりたい自分になりまシート」を活用して、自分に合った具体的な目標を決めたり、「なりたい自分の姿」に関連した目標を書いたりすることができたか

- ◆ めあてがわかりやすいので運動会が通過点であることがわかりやすかった。
- ◆ 「～するために～」のように理由を意識して記述したり発言したりする児童が多かった。
- ◆ 今回の目標は数値目標を入れにくいので、具体的な目標になりにくい。題材によって数値目標の入れやすさが変わる。

## 指導助言より



滋賀県教育委員会事務局  
幼小中教育課  
川端 清司 主査

- 大切なのは繰り返すことです。課題をつかみ、目標を立て、実践し、振り返る活動を繰り返すことで、自分のことが分かってきます。つまりメタ認知ができます。自分のことが分かってくると、また新たな目標ができ、スパイラルのように活動が繰り返されます。
- 学校行事は日常に節目をつくります。運動会が近づく今だからこそ考えたこと、伝えたいことが子どもの中に芽生えます。
- 子どもによって、がんばるポイントは違います。応援団長、組体操、リレー、小道具づくり・・・「あなたの役割は何？」と役割を意識できる声掛けをすると、目標がみつかりやすかったかもしれません。
- 子どもはそれぞれ様々な思いを抱えて運動会を迎えます。今回は「目標ボード」を通じて、学級の仲間がどんな思いでいるのかを共有しました。このような活動によって、さらに子どもたちのつながりが深まったと思います。
- 学級活動(2)と(3)のつながりとは？学級活動(2)では給食や挨拶など日常生活を下支えする人間性を養います。人間性が育つからこそ学級活動(3)で、子どもはなりたい自分を目指して努力することができるのです。

## 編集後記

今回、2ヶ月ぶりに研究委員の先生方全員で研究協議を行いました。研究委員の先生方とともに行う研究協議が、回を重ねるごとに熱気を帯びてきていることを感じます。本研究に真剣に取り組んでいただき改めて感謝の気持ちでいっぱいです。また、実践校の先生方にも実証授業および研究協議会の開催に多大な御協力をいただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。



滋賀県総合教育センター 研究員 中波 慎